良好な職業イメージは職業的自尊心を高めるか

○大谷 華・芳賀 繁

(立教大学現代心理学部)

キーワード：職業的自尊心，職業イメージ，安全行動

How do occupational images of an employee contribute for his/her occupational pride?

Hana OYA, Shigeru HAGA

(Rikkyo University)

Key Words: occupational pride, occupational image, safety action

目 的

大谷・内藤・芳賀（2011）は、安全行動意思に対して職業的自尊心が業務意欲と安全態度を介してポジティブな影響を与えることを示した。では、職業的自尊心はどのようにして高められるだろうか。作業者が自分の仕事に対して持っている職業イメージが職業的自尊心に与える影響を検討をした。

職業イメージとして、世間が対象企業に対して抱いている「流通イメージ」、社員が自社が外からこう見られているだろうと考えている「受身イメージ」、社員が自社について抱いている「my イメージ」を扱う。また、組織に対する「会社イメージ」と個人に対する「社員イメージ」を分ける（図1）。

方 法

企業／社員イメージを表現する語句を収集し、KJ法で分類した。得られた各25のイメージ語について、「自社イメージ」および「自社社員の平均的イメージ」を5件法で有職者に評定させた（ $n=464$ ，平均年齢42.2歳，SD10.6）。因子分析（主因子法，プロマックス回転）により、企業イメージ3因子，社員イメージ4因子が抽出された。これらの因子を参考に企業／社員イメージ各6項目の職業イメージ尺度（表1）を作成し，質問紙調査を行った。

受身／my イメージ調査の回答者は製造業2企業（直営工場3，協力会社5）の社員であった（ $n=1329$ ）。流通イメージ調査は，対象企業についてある程度の知識のある成人有職者を選別し，web形式で行った（2企業に対してそれぞれ $n=280$ ）。

結 果

（1）職業的自尊心と自社／自社社員イメージ

受身イメージと my イメージ間に強い相関関係がみられた

表1 企業／社員イメージ調査項目

因子	質問項目
企業イメージ	
高品質好感度	製品・サービスの質が高い
格付け	親しみが持てる
良好社内風土	伝統がある
	働く人にとって居心地が良い
	利益追求型だ（逆転）
社員イメージ	
模範的人材	誠実だ
	親しみが持てる
	仕事に対する意欲が高い
華やかさ	地味だ（逆転）
多忙	暇そうだ（逆転）
柔軟性	融通が利かない（逆転）

（自社イメージ： $r=0.63\sim0.83$ ，社員イメージ： $r=0.47\sim0.62$ ）。

次に，自社／自社社員に対する受身／my イメージが職業的自尊心に与える影響を重回帰分析により検討した。会社の製品・サービス，親近感についての肯定的な my イメージは，職業的自尊心を高めていた。他のイメージの影響は会社によって異なっていた。

（2）自社／自社社員 my イメージと安全行動意思

協力会社A,Bで対照的な my イメージが得られた（図2,3）。

A社社員の自社イメージは，会社規模以外では元方事業者への評価と同等の良好さを示し，親近感，社内居心地では元方以上に良好であった。また模範的人材項目で評価が高く，自社の人材に自信を持っている様子がうかがえた。

B社は，自社／自社社員の両イメージのほぼすべての項目で「どちらともいえない」以上の評価を与えていなかった。

なお，本研究と並行して行った職業的自尊心-安全行動意思調査および企業の安全管理担当者からの聞き取りにおいて，A社では高い職業的自尊心，高い安全行動意思，良好な安全実績がみられ，B社の職業的自尊心，安全行動意思は比較的低く，また安全実績に問題があるとのことであった。

考 察

職業イメージについて，流通イメージと社内作業者が持つイメージを共に測定する尺度を作成した。

自社についての肯定的 my イメージが社員の職業的自尊心を高める傾向が確認された。しかし，他のタイプのイメージでは会社間で差異があり，影響力のパスを確定するには至らなかった。影響力の実態はさらに検討を要する。

よい安全実績をあげているA社で良好な自社／自社社員イメージが観測された。A社の安全実績は以前はB社と同等であったが，近年改善されてきたという経緯がある。今後は，A社を，高い自社 my イメージが職業的自尊心を高め，ひいては安全行動意思に反映されるというモデルの例証とみなせるか，どの my イメージが有効に機能したのかを検討する。

引用文献

大谷華，内藤岳，芳賀繁（2011）．安全行動における職業的自尊心の役割 第75回日本心理学会大会論文集，p.1220